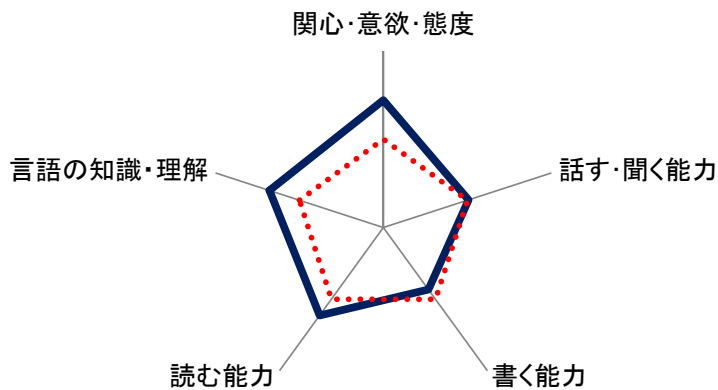


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

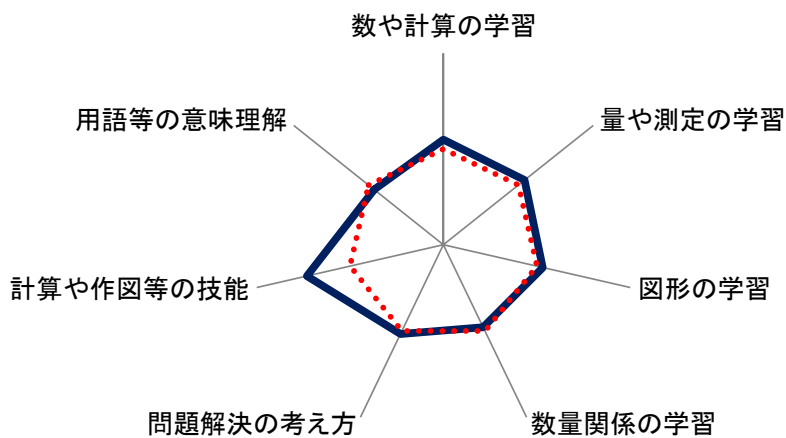
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

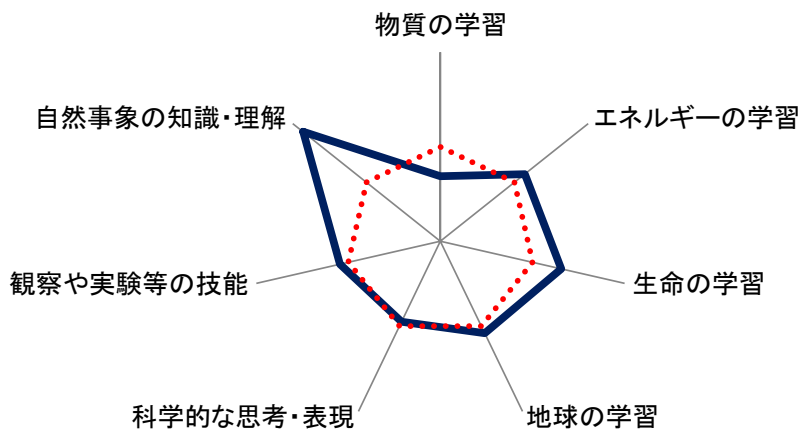
— 町平均  
..... 全国平均



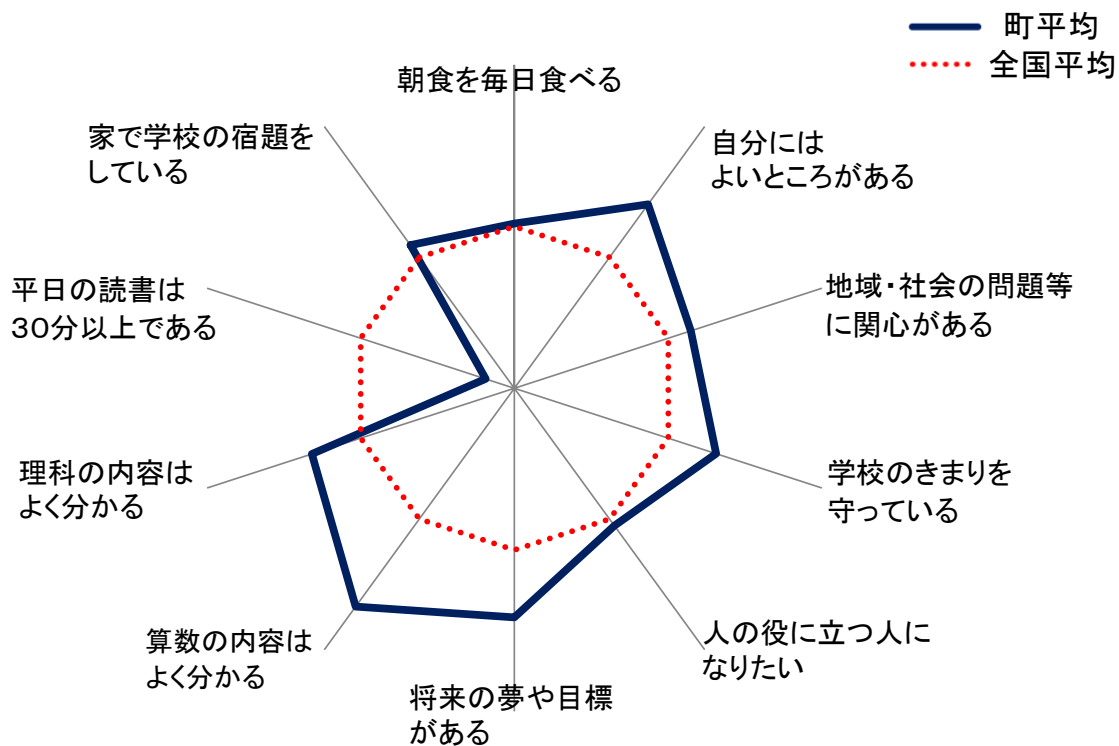
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の各教科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っている。特に国語は「関心・意欲・態度」、「言語の知識・理解」、算数は「計算や作図等の技能」、理科は「自然事象の知識・理解」の各項目がきわめて良好である。児童質問紙調査の「算数、理科の内容はよく分かる」の項目が全国平均より高いことから、「楽しく・分かる授業」に努めており、今後、更なる学力の向上と定着に向けて、各教科において知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げているほぼ全ての項目で肯定的な回答が、全国平均とほぼ同じか上回っている。特に「自分にはよいところがある」の項目においては、全国平均を大きく下回った昨年度に比べて改善されている。「学校のきまりを守っている」や「将来の夢や目標がある」の各項目においても大きく全国平均を上回っている。「平日の読書は30分以上である」の項目においては、昨年以上に全国平均との差が大きくなっている。読書活動の充実各教科の学力向上にも繋がることから、みきゃん通帳を活用した図書館の利用促進を図るなど、一人一人の子どもに応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。